

# 文化や絶景アジアに発信

## ATCウォークフェス 各国参加者ら堪能

東郷池周辺

「アジア・トレイルズ・カンファレンス(ATC)鳥取大会」(新日本海新聞社など特別後援)のウォークフェスティバルが17日、湯梨浜町の中国庭園燕趙園を主会場に始まった。アジア4カ国のウォーカーも加わり、初日は670人が参加。秋晴れの爽やかな風に包まれ、風光明媚な東郷池周辺を満喫した。18日には倉吉市と三朝町で行われる。

第2回ゆりはま天女 書一ノ宮・参拝▽昭和 8・8キの出発式で おもてなしウォークを レトロと出逢う道―のは、同町の宮脇正道町 兼ねており、今滝▽伯 3コースに挑戦。5キ、長が「町や中部地区の



アジアの4カ国のウォーカーたちも加わり、風光明媚な東郷池を眺めながら歩く参加者=17日、湯梨浜町松崎付近

良さを知り、元気に楽しく歩いてください」と激励し、平井伸治知事が中国のドラを威勢よく鳴らして一斉にスタートした。

参加者らは梨畑を歩いて、高さ44センチから落ちる今滝で疲れを癒やし、倭文神社参拝でパワーをもらうなど、町内の自然や文化を堪能。レトロな雰囲気漂うJR松崎駅周辺では、梅コロッケや甘酒のものがたりを受け、お腹も心も満たしていた。

中国・北京市の劉曉明さん(42)は「文化や歴史を感じながら歩いて、とても満足。湯梨浜町は『世外桃源(俗世間を離れた美しい別天地・桃源郷)』のような所。中国の人にもっと広めたい」と話した。

ていた。

アジア・トレイル・ネットワークの会員60人は、北栄町の青山剛昌ふるさと館や琴浦町の鳴り石の浜、花見瀨墓地を巡るエクスカーション(体験型見学会)にも参加した。